

平成30年 黒部市教育委員会6月定例会 議事録

日時 会場	平成30年6月26日(火) 午後1時30分～3時25分 黒部市役所201会議室
出席者	教育長 国香 正稔 教育委員 川崎 正美 (教育長職務代理者) 教育委員 前田 潤 教育委員 加藤 昌弘 教育委員 雪山 俊隆 教育部長 次長・学校教育課長・学校給食センター所長 学校教育班長 生涯学習課長・生涯学習施設建設推進班長 スポーツ課長・フルマラソン推進班長 図書館長・図書館構想推進班長 こども支援課長・保育所・幼稚園班長 ジオパーク推進班長 図書館主幹 学校教育課庶務係長 長田 行正 能登 昌幸 齊藤 誠 島崎 豊 橋本 正則 川端左起子 藤田 信幸 川添 礼子 中嶋ひとみ 前林 丈雄
傍聴人	なし (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会6月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、教育長の私が署名します。次に、「5月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問なし)
教育長	特にないようでありますので、記載のとおりとして議事録に署名することとします。 次に「教育長報告」をいたします。 1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 6月3日(日) (仮称)くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会先進地視察(塩尻市民交流センター) 発想の転換が図られたと思われる施設。利用方法を含め、単に複合したということではない印象を受けた。 (2) 6月17日(日) 第13回黒部市民体育大会総合優勝旗・優勝杯返還式(ステイックリング)(宮野運動公園体育館) 2 出席した会議等の概要報告について (1) 5月30日(水) 富山県市町村教育長会総会(富山市役所) (2) 学校訪問:通常訪問研修 ・6月:桜井小(14日(木))、高志野中(19日(火))、生地小(26日(火)) 3 所管事務に関する問題・情報等について(児童生徒の安全・安心に関すること) [前回会議以降、今回会議までの間] (1) 児童・生徒の交通事故等 ○交通事故(1件)

- その他の事故等（5件）
- (2)不審者情報等（1件）
- (3)鳥獣出没情報（1件）
- (4)いじめの認知件数及び指導の経過（5月報告分）
 - ①小学校（新規認知件数9、指導中9、見守り中3、解消2）
 - ②中学校（新規認知件数2、指導中4、見守り中3、解消0）
- (5)平成30年度在籍児童・生徒・園児数（6月1日現在）
 - ①小学校 児童数2,122人（前月比1人増）
 - ②中学校 生徒数1,062人（前月比 同数）
 - ③幼稚園 園児数 90人（前月比 同数）※こども園含む

教育長 以上、教育長報告としますが、質問がありましたらお願いします。

委員 相撲練習での事故ですが、先生か誰かが一緒にいたのでしょうか。

学校教育班長 教員がついていました。わんぱく相撲の練習のため、朝、登校後すぐに練習を始めた際に起こった事故です。

教育長 ほかに何かありますでしょうか。（なし）
特にないようですので、次に報告事項に移ります。
はじめに「報告第1号 平成31年度国・県に対する重要要望事項について」説明願います。

教育部長 平成31年度国・県に対する重要要望事項といたしまして、教育委員会からは、6件を予定しています。6月28日に県庁に出向きまして要望する予定です。順次説明させていただきます。

NO. 1（促進要望）

〔件名〕立山黒部地域のユネスコ世界ジオパークの認定と世界文化遺産登録について
〔要望先〕（県）総合政策局、教育委員会
〔内容〕日本ジオパークに認定されている立山黒部地域がユネスコ世界ジオパークの認定に向け取組を進めるなかで、県の支援等を要望するとともに、世界ジオパークの認定が砂防事業をはじめとする「立山・黒部の世界文化遺産」の登録に向けた一歩にもなることから、世界文化遺産登録もあわせ、活動していくというものです。

NO. 2（促進要望）

〔件名〕（仮称）桜井・宇奈月統合中学校の建設事業について
〔要望先〕（県）教育委員会、総合政策局、（国）文部科学省大臣官房文教施設企画部、スポーツ庁参事官
〔内容〕桜井中学校は建設から50年以上が経過し、老朽化が著しく危険であることに加え、学校再編計画により平成32年度までに宇奈月中学校との統合を目指しており統合校としての整備が求められています。平成27年度から校舎棟建設に着手し平成29年度からは体育館・武道場、平成30年度からはグラウンドを含む外構工事を実施しています。統合に間に合う様に整備促進を要望するという趣旨です。

NO. 3（促進要望）

〔件名〕（仮称）鷹施・高志野統合中学校の大規模改造事業について
〔要望先〕（県）教育委員会、（国）文部科学省大臣官房文教施設企画部
〔内容〕高志野中学校は学校再編計画により平成32年度までに鷹施中学校と統合を目指しており、統合校として早急な整備が求められています。また、建設から30年以上が経過し、老朽化も著しく平成32年の統合に間に合うよう整備を要望するという趣旨

です。

NO. 4 (継続要望)

[件名] 小中学校再編にかかる財政支援及び適切な人員配置について

[要望先] (県) 教育委員会

[内容] 近年、黒部市では小中学校の再編を進めているところですが、安全で安心な通学対策の整備などに十分な通学対策を講じる必要があることから、通学関係経費に関する財政支援をお願いするものです。また、学校再編については児童生徒を取り巻く環境も大きく変化することから、児童生徒の心のケアにもきめ細かく対応していく必要があります。小学校統合の際に1名増員していただいておりますが、今後も中学校の統合がありますので、この制度を継続していただけるよう手厚い教員配置について要望するという趣旨です。

NO. 5 (継続要望)

[件名] 小学校3、4年生における「少人数指導」・「少人数学級」の選択制に伴う教員配置について

[要望先] (県) 教育委員会

[内容] 県では平成28年度に小学3年生を対象に「少人数指導」または「少人数学級」のいずれかを選択できる制度が導入されました。平成29年度からは4年生まで継続できることになっております。しかし、現在の少人数加配の人数だけでは、事実上困難な状態であり、複数学年での「少人数指導」または「少人数学級」に取り組めるよう教員の配置に関して要望するという趣旨です。

NO. 6 (新規要望)

[件名] 小中学校における不登校対策事業への支援について

[要望先] (県) 教育委員会

[内容] 現在不登校になっている児童生徒への学習支援や、登校への足がかりとなる別室登校といった教育機会の確保と充実を図ることは、義務教育において大変重要であると考えていることから、不登校対策にかかる専任教員の配置などが必要不可欠であり、不登校対策への支援について要望するという趣旨です。

説明は以上です。

教育長

質問がありましたらお願いします。

委員

NO. 4の「小中学校再編にかかる財政支援及び適切な人員配置」について、保護者等の理解を得られる通学対策を講じられないとのことですが、どのような点が保護者と行政とのギャップになっているのでしょうか。

教育部長

国の遠距離通学対策には一定の基準が設けられていますが、市で小中学校の再編を進めるにあたり、その基準を超えた対応が必要になっており、その超えた分にかかる経費は市が単独で負担することになることから、その点について県の支援を求めているという趣旨です。

委員

分かりました。それと、この要望に関連してですが、教員の人員配置に関しての臨時的任用講師の取扱いなど、少し気になる点もあります。質問は以上です。

教育部長

もう一点追加で説明したい件があります。

平成31年8月から9月にかけて、国際的な舞台芸術の祭典である第9回シアター・オリンピックが開催されます。場所は、富山県の利賀と黒部市となります。また、シンポジウムやワークショップなども行われます。

これまで世界8カ国で開催されていますが、第9回シアター・オリンピックスでは本市のセレネや前沢ガーデン円劇場を実施会場としていることなどから、この事業について県の支援を要望する予定としています。

教育長

今ほどの説明について、何か質問がありましたらお願いします。

委員

私はセレネの運営委員会に参加しており、その会議において、シアター・オリンピックス国際委員の鈴木忠志氏がセレネを気に入っているという話を聞いたことがあります。しかし、セレネは会議場であり演劇のステージとは本来違うことから、ステージの形態や照明の関係などに関して対応が必要であるということですので、参考としてお知らせします。

教育部長

今ほどお話いただいた対応などに費用がかかることから、県の支援を要望するということです。

教育長

次に、「報告第2号 黒部市議会において議決された条例改正等議案等について」説明願います。

教育部長

「報告第2号 黒部市議会において議決された条例改正等議案等について」につきましては、まず、「黒部市公民館条例の一部改正」についてです。これは、整備中の音沢交流センターを音沢公民館として位置づけ、住民の利用に供するため、平成30年8月5日を施行期日として、位置の改正を行うものです。

次に、「黒部市地域交流センター条例の一部改正」についてです。今ほどの説明と関連しており、整備中の音沢交流センターを地域交流センターとして位置づけ、住民の利用に供するため、平成30年8月5日を施行期日として、交流センターの一つに追加するものです。

次に、「黒部市総合振興計画前期基本計画について」です。2018年度から2022年度までの5年間は前期基本計画の計画期間となっており、教育委員会関係としては主に第5章に位置づけられていますが、いくつかは他の章に位置づけられています。ここでは詳細な説明は省略いたしますが、市の最上位計画として、本計画に沿って教育行政を進めることとなります。

次に、「専決処分の承認について」です。これについては、先の2月定例教育委員会で報告していますが、損害賠償の額が決定したことに伴い、議案として提出したものです。本年2月2日に発生した宇奈月中学校スクールバスによる事故ですが、今回は物損分の損害を賠償するものであり、人身被害分の損害額については、金額が確定後、別途損害賠償の額の決定を行う予定です。関係者等には大変ご迷惑をおかけしたところであり、今後も事故には細心の注意を払い、安全運行に努めたいと考えています。

最後に、「専決処分の報告について」です。これについては、昨年12月12日に発生した鷹施中学校スクールバスによる事故ですが、これについても損害賠償の額が決定したことに伴い報告案件としたものであり、特に人身被害分はありません。

説明は以上です。

教育長

質問がありましたらお願いします。

委員

「黒部市総合振興計画前期基本計画」について、すでに決定された内容ですが、少し気になった点がありました。それは、第5章の2「学校教育の充実」に記載されている「特色ある英語教育に取り組んでいる」というところです。この「特色」という言葉に少し引っかかりを感じました。黒部市では、先ほど朗唱した市民憲章において「世界の人々と交流を深め、魅力のあるまちをつくります」としていますが、このようなまちになるようにとのことで、学校教育でも英語教育に取り組んでいると思います。また、総合振興計画の第5章においても「人が輝くまちづくり」という、理念というようなもの

の実現のために取り組んでいるというなかで、その結果にじみ出てくるものが、英語教育の推進による特色ではないかと思っておりますので、最初から「特色ある英語教育の推進」という表し方はいかがなものかと思っております。テレビを見ていると、個性というものは他人が決めるものだと、自分でこういう個性があるというのはおかしいと発言された方がいました。黒部市として一生懸命取り組んでいるのは理解していますが、表現として「特色のある」というのは、黒部市以外の方などが取り組みを見られて、その感想として「特色のある英語教育だ」と発言されるのなら分かるのですが、黒部市自身が「特色ある英語教育」とするのは違和感があると思っておりますので、また検討してもらえたらと思います。

教育長

表現として、自身に対して用いるのはどうかという意見であったかと思っております。次に、「報告第3号 平成30年第4回黒部市議会6月定例会 一般質問及び答弁要旨(教育委員会)」について説明願います。

教育部長

「報告第3号 平成30年第4回黒部市議会6月定例会 一般質問及び答弁要旨(教育委員会)」につきましては、代表質問3名、個人質問4名の方から質問をいただきました。質問が色々ありましたので、要旨等を簡単に説明し、いくつか答弁内容を読み上げます。

◇代表質問(新風の会)

○高野 早苗 議員

〔質問事項3〕「朗らか黒部の創造」の考え方について

〔質問要旨(1)～(3)〕

(1) 中学校の再編について

(2) 少人数学級・少人数指導の普及について

(3) 趣味・特技が発揮できる全世代型生涯学習の展開について

◇代表質問(新樹会)

○辻 靖雄 議員

〔質問事項1〕市長就任の所感と公約実現への決意について

〔質問要旨(3)、(5)、(9)〕

(3) 女性リーダーの育成と具体的研修の取組みは。

(5) 仮称「くろべ市民交流センター」建設に100台の駐車場を。

(9) ①「セレネ」の稼働率向上と ②「シアターオリンピックス」への支援策は。

◇代表質問(新政会)

○木島 信秋 議員

〔質問事項2〕市長のリーダーシップとトップセールスについて

〔質問要旨(4)〕

(4) 2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけての展望について。

◇個人質問

○中村 裕一 議員

〔質問事項2〕児童 生徒をとりまく教育環境について

〔質問要旨(1)～(4)〕

(1) 児童、生徒の登下校の見守りについて市内の小学校の現状について伺う。

(2) 今年1月スポーツ庁において、中学校部活動のガイドラインが示された。週2日間以上の休養日と活動時間は平日2時間、休日3時間と提示された。市内中学校での活動状況はどうか。また、新規事業として部活動指導員が配置されたが活動内容について伺う。

〔答弁：教育長〕運動部、文化部ともに「黒部市部活動の方針」により、土曜日、日曜日のうち、いずれか1日と、月曜日から金曜日のうち1日を部活動休養日としている。

活動時間については、平日は2時間以内、土日・祝日や長期休業中は3時間以内としている。部活動指導員に関して、3中学校に3人を配置しており、1日2時間、週3日で指導を依頼している。業務内容としては、実技指導や学校外への引率、指導計画作成等である。今後も、教員の負担軽減を図りながら、部活動指導の充実に取り組む。

(3) 国は将来、情報活用力は学習の基盤となる力として位置づけ、無線 LAN の整備に力を入れている。県内の小中学校の整備は0～100%とばらつきがあるが、市として取り組みの現状を問う。

(4) 児童、生徒の減少でそれぞれ土地のシンボルとして思い出多い学校が廃校となっている。市の東布施小学校、前沢小学校が廃校であるが、広い敷地と校舎を有するこれらの公共施設についての活用はどのように考えているか。

[答弁：教育部長] 旧東布施小学校については、グラウンドや体育館を地区の行事等で使用していることもあり、引き続き協議を行う必要があると考えている。旧前沢小学校については、校舎等は平成29年度から使用を取りやめており、グラウンドは、中学校統合までの間、中学校の体育の授業や地区の体育大会等に使用することとしている。市の計画「公共施設のあり方検討」では、統合により普通財産となった施設は売却処分を基本としているが、これらの施設の取扱いについて、今後の施設管理等を含め、適切な対応に努めたいと考えている。

◇個人質問

○成川 正幸 議員

[質問事項1] 芸能文化の振興について

[質問要旨(1)～(5)]

(1) 本市には、「布施谷節」と「しばんば」の全国に誇れる二大民謡が残されている。その一つ「布施谷節」の継承存続が危機的状況にある。市として郷土芸能文化の現状認識を伺う。

(2) 文化継承の希望は、たかせ小学校、鷹施中学校に民謡クラブがあることである。しかしながら平成32年度には4つの中学校が2つに再編され、鷹施中学校が無くなる。そのタイミングで廃止されるのではと危惧される。今の考えを伺う。

[答弁：教育長] たかせ小学校の民謡クラブには9名在籍し、月2回放課後に練習しており、市芸術文化祭や敬老会等で踊りを披露している。鷹施中学校の民謡部には、現在11名が所属し、敬老会や中学校文化祭等で披露している。その他、三味線部もあり、体育大会で「布施谷節」を披露している。民謡部、三味線部のどちらの部にも、現在1年生が所属していることから、統合校としての運動部や文化部の活動のあり方を検討するなかで継続する方向で考えている。

(3) 現状では、2つの民謡は地元の学校のみで継承活動が行われている。少子化の進展により、人材確保が難しくなっている。地域の垣根を越えて黒部市の全校で取り組めないか伺う。

(4) 本年、国では文化財保護法改正案が成立し、平成31年4月より施行される。改正法では、地域計画を市町村が作成し、国が認定する制度の創設をうたっている。そこで、本市としても、「文化交流のまち黒部」を推進していく絶好の機会となると考える事から、文化財の保存・活用に関する「地域計画」の策定をしてはどうか伺う。

(5) 本市の芸術文化振興についての思いを伺う。

[質問事項2] 子ども・若者支援について

[質問要旨(1)～(4)、(6)]

(1) 中学校卒業後の進路は把握されているのか伺う。

(2) 高校退学者が減らない。退学者の大半は1年生だと聞いている。想定される理由の一つ目として、中学校時における不登校などの問題の原因が解消されず、高校に入学した事があげられる。中学卒業時に、「今後も支援が必要な子ども・家庭」を中学校卒業後も支援を繋いでいく必要があると考えるが、そういった支援が必要だと認められた生徒は、中学校卒業でどうなるのか。支援はどうか伺う。

- (3) 想定される理由の二つ目として、職業科と普通科や実力以上の学力の学校への入学など、進路のミスマッチがあるのではないかと。現在の進路指導方法も併せて伺う。
 [答弁：教育長] 進路指導においては、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の視点で指導を充実させるよう努めている。1年生では職業調べをしたり、2年生では「14歳の挑戦」に取り組んだりしながら、望ましい勤労観や職業観の育成を図っている。3年生ではオープンハイスクールや高校説明会等を通して、自分なりの将来像を明確にしながらい進路を主体的に選択できるよう指導している。そのうえで、個別相談や、本人、保護者、教師の三者による相談等の機会を継続的に確保し、各高校の特徴についての情報提供などをしながら、生徒一人ひとりが自己理解を深めるとともに、主体的に進路を選択できるよう指導している。
- (4) 不登校・退学した子どもについて、本人だけではなく家族の支援も大事であり、相談できる場所が必要である。相談できる場所として現在、「ここにこ相談会」などが実施されているが、利用状況はどうか。もっと支援に繋がる方法が必要ではないかと思うのだが、どうか伺う。
- (6) 子どもたちの未来は、黒部市の未来でもある。未来に夢と希望が持て、自立できる社会にならなければいけないと考える。青少年育成の観点から、思いを伺う。

◇個人質問

○橋本 文一 議員

[質問事項3] (仮称)くろべ市民交流センターについて

[質問要旨 (1)]

(1) 交流センター建設予定地に隣接する北陸銀行が4月に移転をした。以前に移転後の跡地について、北陸銀行と話し合いが行われたのかと質問した。跡地を駐車場として借り受けてはとの声がある。

跡地について、北陸銀行と協議を行う考えはあるか。

◇個人質問

○小柳 勇人 議員

[質問事項2] これからの市内で開催される大型イベントへの対応について

[質問要旨 (1)、(2)]

(1) 今後予定されている大型イベントの計画内容について問う。

(シアター・オリンピックス)

(2) イベント開催に合わせて、本市が行うインフラ整備の方向性を問う。

(シアター・オリンピックス)

教育長

質問がありましたらお願いします。

委員

高校退学者が減らないとの言動が質問にありますが、具体的な数字や根拠についての発言はありましたか。

学校教育課長

具体的な数字等についての発言はありませんでした。

委員

新川地区では、管内の子ども達は管内にある高校に進学する率が高いと思います。また、高校と中学との間の連携は手厚く、進学者についての情報交換を、時期を捉えて実施していると思います。それらがもっと機能すれば、退学者の人数にも変化があるかもしれません。高校等の関係者は努力をされていると思いますが、なかなか難しい問題です。

教育長

不登校を少しでも減らす、不登校にならないようにする、そういったことが大事だと思います。議員の質問は、高校を退学してしまうことで、社会から外れてしまうような状況になってはいけないということではないかと思っています。社会状況も変わってきてお

り、高校を退学すると、その後が厳しい面があると思います。どのようにすれば、子ども達をサポートすることができるのか、しっかりと考える必要があります。

委員 多分、現在の高校の退学理由の主たるものは、警察の指導対象となる非行によるものではなく、どちらかと言うと、特別な支援が必要なケースで十分な支援ができない場合、例えば学力がついていかず留年を繰り返した結果などではないかと思います。

教育長 色々なご意見をいただきありがとうございます。
次に「報告第4号 課等の事業報告（経過・予定）について」報告願います。

学校教育課長 [経過事業]
○6月 8日 黒部市議会6月定例会（～25日）
・6月25日に閉会。補正予算等が議決された。
○6月 8日 （平成30年度第1回）黒部市教育振興協議会
○6月11日 小中学校長研修会
○6月14日 学校訪問：通常訪問研修 開始

[予定事業]
○6月28日 平成31年度予算に対する国・県への重要要望活動
○6月28日 黒部市立中学校統合準備委員会・総務企画専門部会合同会議
・校章、校歌について検討を行う。
○7月 2日 制服・体操服選考専門部会合同会議
・制服について検討を行う。
○7月 9日 小中学校長研修会

生涯学習課長 [経過事業]
○6月 3日 （仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会先進地視察
・委員等24名が参加
○6月10日 「くろべ水の少年団」結団式
○6月12日 夏のさわやか運動（～15日）
○6月21日 第31回愛本姫社まつり
○6月23日 青少年育成黒部市民会議総会
・会長の交代あり
○6月25日 青少年育成県民運動推進指導員 黒部連絡会
○6月25日 青少年育成県民運動推進指導員 じんじんまつりパトロール

[予定事業]
○7月 4日 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会運営委員会
○7月10日 第3回（仮称）くろべ市民交流センター管理運営計画策定委員会
○7月14日 第2回歴史講座「愛本刳橋の懸け直し」
○7月29日 黒部川水のコンサート&フェスティバル2018

スポーツ課長 [経過事業]
○6月 4日 黒部市スポーツ審議会委員委嘱書交付式・第1回審議会
・委嘱書を9名に交付し、会長を選任
○6月17日 第13回黒部市民体育大会総合優勝旗・優勝杯返還式（スティックリング）
○6月23日 北陸地区スポーツ推進委員研修会（～24日）

[予定事業]
○7月 1日 第13回黒部市民体育大会（柔道、ソフトボール男子、テニス 等）

- 7月 8日 第13回黒部市民体育大会（野球、相撲、ソフトテニス 等）
- 7月16日 カターレ富山市町村サンクスデー（黒部市の日）
- 7月20日 第71回富山県民体育大会黒部市選手団激励壮行会
- 7月28日 第71回富山県民体育大会中心会期（～30日）
- 7月上旬 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」
アーチェリー競技事前キャンプ誘致推進実行委員会
- 7月上旬 黒部市「2020東京オリンピック・パラリンピック」
バレーボール競技事前キャンプ誘致推進実行委員会

図書館長

〔経過事業〕

- 5月30日 黒部市図書館協議会
- 6月 4日 図書館を愛する会視察
・委員6名等が参加
- 6月19日 「映画原作&ノベライズ特集」（～7月22日）

〔予定事業〕

- 7月 1日 「この夏始めるアウトドア」（～31日）
- 7月13日 「定年後の備えと楽しみ特集」（～8月31日）
- 7月14日 「夏休み自由研究&課題図書展」（～9月2日）
- 7月14日 「夏休み自由研究特集」（～9月2日）
- 7月21日 「火星大接近 夏の星空を見てみよう」（～8月12日）
- 7月27日 「井上ひさし特集」（～8月19日）
・コーレとの連携事業

学校給食センター所長

〔経過事業〕

- 6月 7日 給食試食会 開始

〔予定事業〕

- 7月11日 ジオパーク給食
- 7月19日 黒部地場産学校給食の日（第1回目）
- 7月23日 第1学期学校給食終了（幼稚園・小学校）
- 7月24日 第1学期学校給食終了（中学校）

こども支援課長

〔経過事業〕

- 5月31日 春の遠足 実施（6月初めにかけて）
- 6月23日 エコライフ・アクト大会（5歳児希望者参加）〔生地こども園〕
・ごみの分別、再利用、食品ロスの削減等について発表

〔予定事業〕

- 7月 7日 夏祭り
- 7月24日 終業式
- 7月26日 カレーパーティ

教育長

各課等の事業報告がありましたが、これらについて質問があればお願いします。

委員

生涯学習課の事業である結婚支援相談窓口について、実施状況を教えてください。

生涯学習課長

結婚支援相談窓口は、平成29年度から実施している事業です。昨年までは月3回、市役所内で実施しました。今年度からは、月4回の実施に増やし、そのうち1回ないし2回はコーレの会議室を用いて実施することにしています。

相談される方については、前もって予約をいただき、時間を決めて相談を行っており

ます。

委員

この事業のPRはどのように行っていますか。

生涯学習課長

市の広報への掲載などで、時間や場所をお知らせしています。

委員

実際の相談状況や人数について教えてください。

教育部長

水曜日に実施する際は午後4時30分から午後7時、土曜日は午前9時から午後1時までといった時間を中心として行っています。少し古いデータですが、相談実績として昨年6月から今年1月までの間に19回実施し、33人から相談がありました。同時期の問合せは80件あまりでした。

委員

相談に来られるのは、本人ですか、それとも親などですか。

生涯学習課長

親御さんが来られる場合もありますので、両方です。

委員

相談内容はどのようなものですか。

生涯学習課長

内容は色々ありますが、婚活ということで、相手をどのように見つければよいか分からない、どこに行けば出会いがあるのか、また、親御さんであれば、どういう風に子どもに話をすればよいか、接すればよいか、などが主な相談となっています。

委員

窓口に来られて話をすることで、相談者は満足していますか。

生涯学習課長

専門の相談員が対応していますので、大体了解されているようです。

委員

その場でマッチングするというわけではなく、次につなぐということですか。

生涯学習課長

そうです。相談のときに特別に登録を希望されれば、マッチングも可能になります。

委員

分かりました。一つ思ったのは、対象となる方の目に届きやすいようPRが大事ではないかということです。当事者が見るといことが大事だと思います。

教育長

ほかにありますか。(なし)

次に「報告第5号 その他 ・黒部市立小中学校における学校閉庁について」説明願います。

学校教育課長

これにつきましては、今年度から学校閉庁日を設けるということで、8月13日から15日までの3日間を閉庁とするものです。本日の委員会での報告後、市のホームページ等に掲載することとしています。

今年度が初めての取組ですので、保護者宛てに案内文を配付する予定です。

教育長

質問があればお願いします。

委員

初めての取組ですので、保護者が不安にならないよう3日間の間の問合せ先などを案内文に明記したほうがよいのではないのでしょうか。

学校教育課長

ゴールデンウィークや夏休みなど類似した状況もあり、それらに準じていると考えていますので、必要以上に記載することはないと判断しました。担当として学校教育班を記載していますので、そちらに連絡いただくことになると思います。

委員 連絡先を明記しないと、学校連絡網などを用いて担任に電話することも想定され、結局先生がしっかりと休めないことにつながる可能性もあります。

教育部長 事務局で再度検討しますが、本内容により配付することとなった場合はご理解をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。
さて、ここで1件、追加の報告があります。
内容は「大阪府北部地震のブロック塀倒壊事故に関する対応経緯」についてです。市議会にも同内容で報告しました。6月18日に高槻市で事故が発生し、同日の記者会見で塀が建築基準法に適合していなかったと報じられました。これを受けて、黒部市においても19日以降に市内小中学校へ連絡して確認するなどの対応を行っています。
市内においては、生地小学校、石田小学校、鷹施中学校にブロック塀があることが判明しました。基準を満たしていない塀や劣化している壁がありましたので、それぞれ対応したいと考えています。また、プール施設にある塀にも基準を満たしていないものがありましたので、これについても対応したいと考えています。該当する学校は、生地小学校、中央小学校、荻生小学校、若栗小学校の4校でした。
報告は以上です。

教育長 質問があればお願いします。

委員 以前に、小学校、中学校において耐震化を進めていたと思うのですが、その時になぜこれらの塀やプールについて対応がされなかったのでしょうか。
校舎は耐震診断などの調査をして耐震化を行ったと思うのですが、塀などはどうだったのでしょうか。

教育部長 校舎や体育館について調査はしたのですが、プールなどの施設については気付かなかったのではないかと思います。市議会などからは認識が甘いのではないかと指摘もありましたが、現実的に考えが至っていなかったという面があります。

委員 市役所に耐震診断を行うことができる資格を持った職員はいますか。

教育部長 耐震診断そのものは業者に依頼することになりますが、一級建築士の資格を持った職員がいますので、構造物について基準に適合しているかどうかについては判断できます。都市政策課に2名の正職員がおり、学校教育課にも臨時職員ですが1名資格を持った者がいます。必要に応じてこれらの職員と打合せをしながら進めています。

委員 非常勤の職員を含め、計画的に公共施設や教育関係施設などについて確認、点検をしてもらうことは可能ですか。後から何かあつてはどうかと思います。この機会に、資格を持った方に見てもらおうと安心できるかと思います。検討してみてください。

学校教育課長 チェックが必要かどうかを含めて、建築士の資格を持った者と相談したいと思います。

教育長 ほかにありますか。

委員 先ほどから、統合中学校に関する話があつたかと思います。施設の整備や校章の検討などの準備が進められ、目に見えてきているとは思いますが、一つ気になったのは、新しい中学校の教育理念、ビジョンは、どこでどのように検討されるのかということです。最終的には新校長を中心として新中学校で検討されるとは思いますが、公立中学校ですので、あまり特殊なものではないと思いますが、そういったことについて検討をしていくことで、例えば、校歌への反映や、具体的な学校運営を規定していくうえで、大事だと思っています。どうやって、そのような理念を創っていくのか、また、その過程

において、生徒や保護者、若手教員、地域住民などが入る場、参画する機会を設けることができないかといったことについて何か考えがあれば教えてほしいと思います。そういった方々の考えが全て理念に反映されるわけではなく、新校長の判断による部分が大きいとは思いますが、例えば、生徒であれば、校則などについて考える場があれば、自分たちが関わった新しい中学校という意識を持ってもらうことができると思います。特に校舎が変わる中学校の生徒、職員、保護者にとっては、このような場を設けることは大事なことだと思います。

教育長

中学生が、自ら考え、自ら学び、自ら行動するということが、主体性を育てるといううえでも大切です。また、理念を検討することが大事であり、そのプロセスをどうするか、若い方々に加わってもらうことや当事者が自分たちの学校だと思えるための場の設定などを検討すべきだとのことのご意見であったと思いますが、事務局として何か考えはありますか。

学校教育課長

統合準備委員会を開催していくなかで、子ども達の意見の吸い上げなどについて議論してもらえればよいのかなと思います。校長や教頭、またPTA会長や保護者が参加していますので、どのような方法があるのか投げかけたいと思います。

委員

そもそも、学校の理念とは、通常、どのタイミングに決まるのでしょうか。開校時ののでしょうか。また、公立中学校という点から、全学校に共通したものはあるのでしょうか。それとも個別なののでしょうか。

教育長

市長を含めた総合教育会議で決定した教育大綱があります。また、教育委員会で決定している黒部市教育の方針などがあります。これらが基本としてベースにあるかと思えます。そのうえで、各学校の考えがあると思えます。

委員

会社などでは、理念というと、一つしっかりしたものがあると思えます。今ほどの話を聞いていると、校長を中心としてモデルをつくると、校長が代わった場合、そのモデルは変わるものなののでしょうか。

委員

最近つくられたモデルというか、最近の例もあります。

委員

代々受け継いでいくものを決めるという話なのか、臨機応変に変わっていくものを検討するのかというところがよく分からないところです。

委員

多分ですが、小学校の100年前につくられた校歌などには、地域の方々の願いが込められていると思えます。そのような思いを持って、歌っていた記憶があります。関係する方々の思いは、まずスタート時点に適合するものであって、それが時代とともに受け継がれるのか、時代の変遷によって違うものになるのかということだと思います。

委員

筋として理念は大事だと思いますが、そこまで掘り下げることは大変難しいというか、労力がかかると思えます。理念とは実現を目指すというレベルであり、実現度も判断が分かりにくい部分がありますので、理念の下位にある目標というか、各学校で設定している学校教育目標というものがあります。実際、今ここにいる子ども達はこのような姿で、まだ満足していない姿がある。この学校では子ども達をこのような姿にしたいという期待する姿がある。それに向かって、教育活動を行っているということです。その目標にしているものが学校教育目標というもので、理念より少し下になると思えます。ですので、子ども達の実態が変わると、学校教育目標を変えてもいいということです。それは学校を預かっている校長の判断になると思えます。学校によっては石に刻んでいる場合もありますが、もう少し弾力的なものかと思えます。

学校教育目標は、目標ということですので、それを達成したかどうか確認するため、年度末を中心に学校評価を行っています。これには、保護者の意見や、生徒、職員も関係しています。

一つの考え方として、統合にあたって、両校の学校教育目標、学校評価を持ち寄り、共通する点、最大公約数というか重なる点を確認しながら、それらを加味して、この学校でどのような子どもを育てたいのかということを決めるのが精一杯ではないかと思えます。理念というか、土台となるような校訓といったものをつくるのは、動き出してしばらくしてからでいいのではないかと思います。そこからさらに掘り下げるのは労力や時間がかかることだと思いますので、学校評価の結果を基にして、それらを持ち寄って最大公約数的に統合する学校の学校像を作り上げていくことにつなげていくということが、実施可能な一つの方法かと思えます。

委員 保護者、子ども達、地域住民、若手職員の意見がすぐに形になる必要はないだろうと思っています。そのプロセスに参画したということ、その意見等をベースにして新校長などが検討することが大切だと考えています。

委員 黒部市民憲章というものがあって、理念的なものだと思いますが、こういったものが各学校にはあるのでしょうか。

委員 あると思います。クラスによって毎年変わるものから校訓などさまざまです。

委員 昔は村単位で範囲が小さく意見を集約しやすかったと思うのですが、これだけ広範囲になると難しい面もあると思います。

委員 広範囲だからこそ必要だと思います。新しい校舎に入る子ども達のことなども考えて、プロセスは大変だとは思いますが、取組について検討してもらえたらと思います。

教育長 ほかに何かありますでしょうか。(なし)
次に、「6 連絡事項等」についてお願いします。

学校教育課長 (富山県市町村教育委員会連合会 (7/12 予定) について確認)
(今後の日程について確認)

○教育委員会 7月定例会 【日時】 7月27日(金) 午後3時00分【会場】 201 会議室
○教育委員会 10月定例会 【日時】 10月24日(水) 午後3時30分【会場】 201 会議室
→ 10月定例会について、日時を上記に変更したい旨を諮り了承

教育長 ご意見ありがとうございました。
以上で、本日の会議を終わります。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

平成30年7月27日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 国 香 正 稔